

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	子ども発達スクール かすたねっと (児童発達支援)
------	---------------------------

公表日 2025年 4月 30日

利用児童数 25名 (定期的にご利用されている児童・保護者等) 回収数 24名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24				・する活動によって部屋を分けているのが良い	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	24				・1人ずつについているので安心	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	1		1	・サーキットの隣にとび箱があり危険	療育中のとび箱や巧技台など安全に配慮した環境となるよう、療育スタッフが確認していきます。必要な場所にはマットを設置するなど安全に配慮します。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	1			・とても清潔	日々、療育前後に清掃を行っております。また、お子様の入れ替わり時には必ず換気・消毒を徹底しております。動静のプログラム内容に合わせて療育室を変更し、室内の環境を調整しながら行っております。
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23			1		事業所のHPにて支援プログラムを公表しております。それを基に、お子様の特性や年齢に合わせた支援を提供しております。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されていると思いますか。	24					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23				1	お子様と保護者様とのニーズを踏まえ、個別支援画にはガイドラインに示されている必要な項目を記載し、具体的な目標と支援内容を設定しております。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22				2	集団プログラムでは、全体としての大枠を決め、子どもに合わせた支援を行っております。
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	15	1	1	7		基礎プログラムでは年齢が近い小集団での活動を行っております。また、所属先の幼稚園・保育園で集団生活や交流を行っているため、当事業所での必要性は低いと考えております。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23				1	児童発達支援計画を作成し、お渡しさせていただき際に不透明点がないかなど確認させていただいております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	1		3	・参観があり、いつもの様子が見られるのが良い	プログラム参観や個別療育時では、環境設定や声かけの仕方等、お子様に合わせた支援方法を療育後にフィードバックしています。また、お子様の年齢に近い保護者様への研修会を実施しております。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	24					

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24				・5分以上相談に乗ってもらい、助かっている。 ・zoomやLINEで相談できることが良い	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	4	3	9	・複数年利用しているが兄弟向けのイベントがあるのか分からない。 ・参加したことないため分からない。	保護者参観の頻度を増やしたり、少人数での保護者研修など保護者が参加したい形での交流の機会を設けていきます。全体的な保護者会等は子どもに対する捉え、認め、心の揺れ等、交流が難しい場合を考慮し、現状は予定しておりません。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23				・いつも丁寧 ・すぐに対応している	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	1			・支援内容が明確に共有できている	療育に同席されないプログラムではLINEを使用し、療育の様子をお伝えさせていただいております。必要に応じて家族支援などお子様や保護者様と情報伝達させていただく機会を設けております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	1	2	6	・出来たこと、出来ないことを細かく伝えてくれる。 ・SNSがあるか分からない	個人情報の観点からHPなど公には公開しておりません。自己評価などはHPにて公表しております。また利用者様に必要な情報などは、LINEやお電話にてお知らせしております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21		1	1		個人情報に記載されている資料など情報漏洩を防止するため、鍵付きの棚に入れるなど取り扱いに注意しております。情報を職員間で共有させていただく際は必ず事業所内で共有し、共有させていただく旨を保護者様にお伝えしております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21					各マニュアルを策定し、契約時に保護者様に説明を行っております。また、受付に各マニュアルを設置し、閲覧できるようにしております。事故防止・緊急対応・防犯のシミュレーション研修を実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21				・年に数回訓練があり、訓練をすると子どもが教えてくれる。	地震、水害など非常災害に備えた避難訓練を定期的に実施されているお子様に実施しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21				・名札を外すなど安全対策がされている	安全計画につきまして、保護者様に周知できるよう、受付に掲示させていただいております。また、小集団ではマンツーマンスタッフの配置、必要時のマットの設置など安全に注意しております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21				・けがをした際、LINEとバスで降りたときに教えてくれる。	保護者様が療育に同席されないプログラムでは、怪我などの事故が発生した際はLINEやお電話にてお知らせしており、帰宅時などに保護者様へご説明させていただいております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23				・家でも事業所でしていることを真似して遊んでいる。 ・幼稚園より先に行きたいといつも言っている。 ・いつも楽しみにしている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	1			・ここに通って本当に良かった。 ・都度、ああたらしい、こうしたらいいと言ってくださり、出来ることがたくさん増えてとても満足。	お子様のニーズを大切に、保護者様と育ちを共有できるよう、専門的視点からプログラムを立案、実施していきます。